

会議議事録（要旨）

会議の名称	第1回 宇和島市障がい者計画・障がい福祉計画検討委員会
開催日時	令和2年12月28日（月）14:00～16:00
開催場所	宇和島市役所 202会議室
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	なし
事務局職員氏名	福祉課 武田課長、二宮課長補佐、岡原係長、山本
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委員紹介 3 委員長及び副委員長の選任について 4 議 事 <ol style="list-style-type: none"> （1）計画の概要について （2）宇和島市の現状について （3）アンケート調査等の結果について （4）計画素案について <ol style="list-style-type: none"> ①障がい者計画について ②障がい福祉計画について （5）その他 5 閉 会
配付資料	<p>資料1 第1回宇和島市障がい者計画・障がい福祉計画（第6期）検討委員会名簿</p> <p>資料2 宇和島市障害者計画検討委員会設置要綱</p> <p>資料3 宇和島市障害福祉計画検討委員会設置要綱</p> <p>資料4 宇和島市障がい者計画・障がい福祉計画（第6期）素案</p> <p>資料5 障がい福祉に関するアンケート調査について</p> <p>資料6 宇和島市障がい者支援に関する関係団体調査集約結果（報告書）</p> <p>資料7 宇和島市障がい者支援に関する事業所調査集約結果（報告書）</p> <p>資料8 宇和島市障がい者計画 施策体系の考え方</p> <p>資料9 宇和島市障がい者計画（平成27～令和2年度）の取組状況</p> <p>その他 次第、配席表</p>
その他	

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・福祉課長挨拶 ・委嘱状交付 ・委員紹介 ・委員長、副委員長選出（山本委員長、内山副委員長）
委員長、副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・出席者確認
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議事（1）計画の概要について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料確認 ・資料4説明
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問等あれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料が手元に届いたのは12月22日で、会議開催まで6日しかなかった。事前に読み込んでいかないといけないのに時間が少ないし、会議も今日、1月、2月の3回で終わってしまうという状況をみると、そんなに軽いものなのかとを感じる。以前から、次の計画はどう進めていくのか、再三要望していたが、大事な障がい者計画、障がい福祉計画が今日を含め3回で決まってしまう。そんな短期間で決まってしまうのはいかがなものか。内容を全て読んだが、3回で終わるのかという気がする。忙しいとは思いますが、宇和島市が色々な人にとって住みやすい街づくりになっていくために大事な計画なので、もう少し真剣に、もう少し早めにやってもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開催がこの時期となったことについてはお詫びするしかありません。 ・計画の内容については、実効性のあるものにしていきたいと思っていますので、ご意見やご指導をよろしくお願いします。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかになければ、議事（2）宇和島市の現状について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4説明
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問があれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年と28年の数字が第5期と今回で違うのはなぜか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳の台帳整備を行った結果、数値の差異が出ました。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかになければ、議事（3）アンケート調査等の結果について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料5、6、7説明
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問等があれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・宇和島市手をつなぐ育成会には、私の子も含め、療育手帳を持った子どもがいる。私たち高齢化した親の一番の心配や問題は、親が亡くなった後に入る施設が宇和島市にないことだ。 ・私たち 20 人で、西予市にある松葉学園へ見学に行った。そこには作業所、就労移行や就労継続 B 型事業所がある。また男女の個室もあり、世話をする人がいて、食事の用意をしてもらえ、個室で好きなテレビを見ることもできる。料金は電気代や食事代、居住の費用で 6 万円だ。作業をして 2～3 万円もらえるので、貯金している人もいる。そして 65 歳になれば、同じ社会福祉法人が運営する希望の森に入れてもらえる。私の子どもは自閉症で人見知りをするので、松葉学園に引き続き希望の森に入れると、2～3 人顔見知りがいれば安心して暮らせる。そういうシステムになっているので、宇和島市から松葉学園に行く人が増えている。 ・お金の問題についてだが、障害者扶養共済制度のことを知り、利用し始めたのは子どもが中学校の終わり頃、人に聞いてからだ。私は遅くに子どもができたこともあり、利用も遅かったので、来年 8 月に掛金の支払いが終わる。それからは毎月 4 万円支給されるので、合計 10 万円ちょっとになる。それで希望の森に入れるように、施設側も準備してくれている。 ・宇和島市に松葉学園のような施設があれば、また、お金の心配についても最初から利用できるように教えてもらっていたらと思う。そういうことを考えてもらうのが一番ではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市が入所施設や障害福祉サービスの事業所を持つよりも、各社会福祉法人や事業所等に頼らざるを得ない現状があります。国庫補助を受けて、障がい者サービスの事業所や入所施設等を整備する所に助成制度を設けることができるので、行政として、できることをしっかりとやらなければならないと考えながら、安心して暮らせる体制づくりに取り組んでいかなければいけないと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査について、視覚障がい者の回答率はどのくらいあったか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・別途、回答します。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点や課題がたくさん出てきた中に「何でも相談できる窓口がほしい」というのがあった。これはすぐにでもできると思うが、取り組んでいるか。また、出てきた問題点や課題等については、いつから始めるのか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員の意見は、計画にも関係あると思うが、後ほど再度話す機会があった方がよいのか。今言った方がよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し資料の説明があるので、それを終えてからにしてもらえたらと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここでは、調査結果の質問を受けたいと思う。

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> 委員の意見にあったように、障がいを持つ子どもの親の心配は、自分がいなくなった後にどうなるかだ。施設というきちんとしたものがあれば、安心できる。宇和島市にはそういう施設がなく、今後できるかという、市の説明では助成等という話で終わってしまう。本当にそういう施設を作ってほしいというのを受け止めてもらいたい。 以前、公明党の山本厚生労働副大臣が宇和島市で障がい者の話を聞く場があり、そこでほかの障がいを持つ親が、谷田委員と同様の話をしていた。そうすると、閉校した環太平洋大学短期学部の寮や体育館が活用できていないので、そこを買うなどして、施設を作ったらどうかという話があった。県議会議員も市議会議員も乗る気になっている。話の一つだが、それが実現できれば、心配も和らぐ。そういった話を市にしてもらいたいし、助成は当たり前だが、取組もしてもらいたい。市に情報が入っていないのかもしれないが、そういう話があるのでアンテナを張ってほしい。そういう話になっているので、できる気がする。 委員の意見にあった、一つの窓口に行けば何でも相談できることについては東京には「福祉のコンシェルジュ」があり、専門の職員を配置して、どんなことでもそこで済む。良いことは、どんどんよその真似をすればよいし、できることはやってもらいたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な意見に感謝する。 ほかになれば、議事（４）計画素案について①障がい者計画について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料 9、8、4 説明
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 質問があれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 横文字が多くて、意味が分からない。情報アクセシビリティ、ピアカウンセリング、インクルーシブ教育とは何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 情報アクセシビリティは、情報の取りやすさ、近づきやすさといった意味合いです。 ピアカウンセリングは、障がいを持っている人が同じ障がいを持っている人の相談に乗る、当事者同士で相談するということです。 インクルーシブ教育のインクルーシブは、全てのものを包容するという意味を持ちます。障がいに関係なく、一緒に教育を受けることになります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> なぜ日本語で書かないのか。こういうのは、分かるように書いてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> そのほかにも分かりにくい言葉があると思いますので、注釈をつけるようにします。

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料9について、平成27年から令和2年までの取組の項目127に対し、取組ができていないものが30項目ほどある。23.6%ができていない。もっといえば「検討します」を含めると、4割が計画したものの、実行できていない。 これを基に次の計画が始まるが、できていないことを評価・反省できていない上で次に進むと、2～3年経ってからの検討委員会でまた「取り組めてない。検討している。」になるのではないか。物事は、PDCAを繰り返しやっていると、尻切れトンボに終わる。良い計画を作ってもできていなければ、何もならない。取り組んでいないのであれば、計画に入れる必要はないという思いだ。 また、担当課はどこか。福祉課が全部やるのか。ほかの課もあるのなら、進行管理表のようなものを作成して各担当に渡し、できているかどうか進行管理をしないといけない。そうしないと、2～3年経ってもできないということになってしまう。 男女共同参画審議会の委員もやっていたが、そこでは進行管理をしっかりと行うよう言うと、4年の任期の中で4年目に事務局からフィードバックが各委員にあった。それに対して委員が意見を出すと、事務局がそれを見て、次のステップへ進む。そういう風にフィードバックがあれば、委員もどこまで進んでいるか分かり、次はどうだということができる。作りっぱなしで終わらず、進行管理できるようにしてもらい、半年に1回くらい我々にフィードバックしてもらおう。またそれを返すようなシステムにしないと、計画を作った、で終わってしまう。何のための計画策定か意味がない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 委員の話す通りです。進捗管理については、きちんとできるよう対応を考えていきたいと思います。 内容的に何か意見があれば、またこういうやり方がある、などがあればと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局には進捗管理をよろしくお願いしたい。 施策の体系等について、何かあれば伺いたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料4の48ページ 基本目標6「雇用・就業への支援」、施策の展開16「障がい者雇用の促進の一般就労への移行支援」の取組内容に、第5期では「シルバー人材センターとの連携」の項目が入っていた。これは役目を果たしたのか、今後は連携しないのか。入れるべきではないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 次回までに修正したいと思います。

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会は困り感等を共有して、そこで作っていかないといけないものなどを施策に反映するという役割があると思うが、自立支援協議会で挙げた課題や問題点から、本計画の施策へ提言を行ったり、アドバイスしたりするのかを教えてください。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会は月に1回開催しています。今、防災や移動面の話が課題として挙がってきますが、具体的な提言までには至っていません。こういったことが考えられるかを関係者で話している状況です。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会からの防災や移動面での課題が今回の計画に含まれているという理解でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・内容が十分かどうかというのはありますが、防災、移動面の項目を入れているつもりです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4の56ページ、施策の展開25「防災対策の推進」に「避難行動要支援者名簿」があるが、これは自治会の自主防災と連携して避難するというものだ。しかし本当にこんなことができるのか、名簿があっても、自主防災と連携できているのかという気がする。自治会長に聞くと、市から名簿をもらっているが、どういう風にしていくのか具体的なものがないそうだ。ここに書いていただけでは絵に描いた餅で、具体的にどうするのか。あなたはこの人、あなたはこの人という括りをしないと、災害時にできない。計画を作る際に自主防災組織と打ち合わせをしないといけない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、危機管理課と連携して、防災士を中心に、避難行動要支援者を誰が支援するか、どういった避難ルートを使うかといった個別計画の策定を少しずつですが進めています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて議事（4）計画素案について②障がい福祉計画について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4説明
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問等あれば伺いたい。 ・先ほど委員から「何でも相談できる窓口を早く設置できたらどうか」という意見があった。今後の考え方として、資料4の今の説明でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より市役所1階に「くらしの相談窓口」を設置しています。障がいの有無にかかわらず、高齢者や生活困窮など様々な問題の相談を受け付けています。この窓口で相談を受け付けたら、各担当課や庁外の関係機関等と連携を図って対応しているので、活用してもらえたらと思います。電話でも大丈夫です。周知ができていないようなら、考えていきたいと思います。

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今回初めて出席したが、内容が抽象的だった。具体的にこういうことをするという話し合いが今後あるのか。 ・平成30年度より窓口が設置されていることを知らないから、アンケートで「何でも相談できる窓口を」という意見が出たのだと思う。情報不足が一番感じてる。市役所も皆に知ってもらえるよう、知恵を絞ってもらいたい。ホームページを見たらよいといっても、見るができない人もたくさんいる。 ・市の職員も障がいの一つ一つに対する理解が不足しているのではないかと感じている。例えば、視覚障がい者がどういうものか分かっていたら、郵送でアンケートに答えてくださいというやり方はしない。そこで回収率について尋ねた。何かをするにしても、障がいの特性を知ってもらうことが一番大事だと思う。それを今後の計画にも反映させてもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な制度等をくまなく知ってもらうことは、ずっと課題として抱えています。色々と指摘してもらいながら、知らなかったということがなくなるよう、取組を進めていきたいと思えます。 ・内容が抽象的という点については、計画上はこのような形で掲載して、こういう取組をしていくという中で具体的な事業等の位置付けができればいいと考えています。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど委員からあった「親亡き後の住まい」については、資料4の70ページ辺りに含まれているように思うがどうか。今後の課題として受け止めているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点の整備が項目としてあり、現状ある事業所や機能を上手くつなげて機能する仕組みづくりから検討したいと思っています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・色々と意見があったが、できるだけ具体的に取組項目として出てこないと分からない。「推進します。検討します。」では進行管理ができないので、取組項目をきっちり出してもらい、どうしていくかをやってもらいたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて議事（5）その他について、全体を通して何かあれば伺いたい。本日発言がない委員もいるので、発言してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所の当事者としては、当事者の意見を吸い上げてもらい、それに対応したものになるとありがたい。相談しても利用するサービス等がない場合や、住む場所の問題があって困る場合がある。資源がない部分もあるので、そこを拡充してもらえるとありがたい。

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス事業所として、就労継続支援B型、就労移行支援、生活介護、日中一時支援をやっており、日々様々な障がい者と接している。計画によって、全てをすぐに実行することは難しいが、一歩ずつでも進行してもらえるとよいと期待している。 ・委員から入所施設の話があった。うちも相談支援事業所を持っているので、将来的な不安を抱えた保護者が入所施設を探すことは現実にある。市内で探してもなく、松葉学園から希望の森ルートについて、各施設の管理者と会ったとき、今、国は基本的に入所施設を認めていないという話も聞いた。グループホームは進めているが、障がいの程度が軽く、自立した人でないとグループホームの入所は難しいと感じている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他に意見がなければ、これで議事を終了とする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後について ・閉会